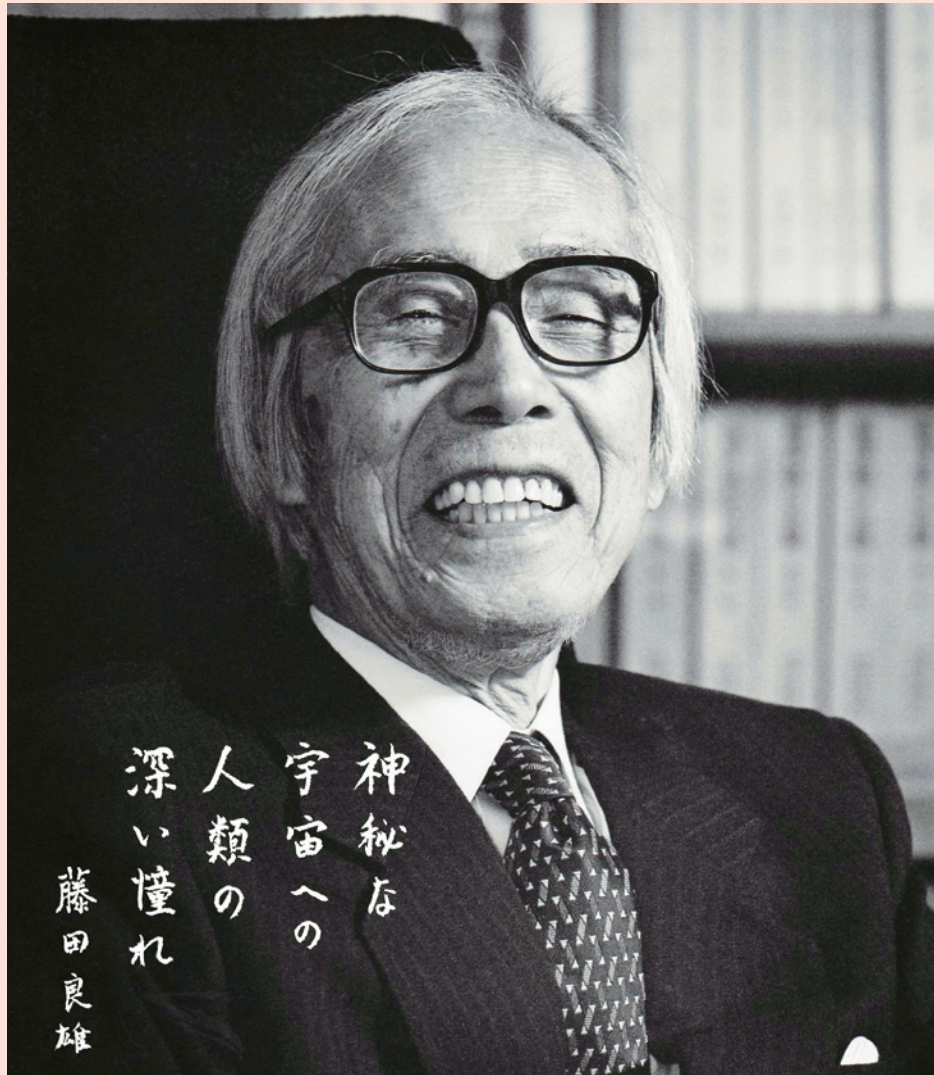




福井市自然史博物館

# 博物館だより

FUKUI CITY MUSEUM OF NATURAL HISTORY NEWSLETTER



藤田良雄博士（日本学士院院長室にて 河野裕昭氏撮影）

## 福井の自然史情報

### 福井が誇る天文学者 藤田良雄博士

福井市名誉市民 藤田良雄博士を紹介する展示コーナーがセーレンプラネット（福井市自然史博物館分館）に完成しました。展示では、博士が実際に使用した天体望遠鏡をはじめ、タイプライターや手回し計算機などの貴重な資料を紹介しています。



中面に関連記事があります。

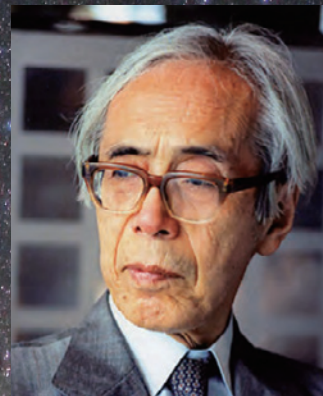


# 福井が誇る天文学者

ふじ た よし お

## 藤田良雄博士

1908-2013  
天文学者  
東京大学名誉教授  
理学博士、福井市名誉市民  
第21代日本学士院院長



写真提供/藤田道也氏

藤田良雄博士は、1908年（明治41年）福井県三国町（現坂井市）に生まれ、後に福井市に転居。1931年（昭和6年）東京帝国大学（現東京大学）理学部天文学科を卒業。当時、世界の天文学会では未開拓の分野であった、低温度恒星のスペクトルを主とした分光学的観測研究に取り組み、その研究成果は世界で高く評価されました。

この他、岡山天体物理観測所の188cm望遠鏡をはじめ、ハワイの「すばる望遠鏡」や福井市自然史博物館屋上天文台の建設にも尽力されました。

藤田博士は、大型天体望遠鏡に高い分散度の分光器を取り付け、数多くの低温度星のスペクトルを撮影しました。そして、スペクトルに現れる吸収線という暗い線の強度と精密な波長を特定し、低温度星に関する数々の新しい発見をしました。

恒星の表面温度が高い順番に分類した  
スペクトルのハーバード式分類

R-N  
S  
O-B-A-F-G-K-M

この分類で、低温度星はM型星、S型星、R-N型星（炭素星）の三つに分岐していますが、この原因についてこれまで温度などの違いでは説明ができませんでした。これに対して、藤田博士は、恒星大気炭素、窒素、酸素の組成比を変えて、星の表面重力と温度との関数として計算し、スペクトルにあらわれる分子の帯スペクトル強度を算出しました。そして、自らアメリカの大望遠鏡で撮影したスペクトル線の強度と波長の特定により、この理論を実証し、炭素、窒素、酸素の組成比のちがいで、低温度星が三つに分岐することを明らかにしました。

（文/館長 吉澤康暢）

背景写真/学芸員 加藤英行撮影



セーレン  
プラネット

## セーレンプラネットに展示している 藤田良雄博士の貴重な資料



藤田博士を紹介する展示コーナー



藤田博士が愛用した品々

藤田博士が愛用した品々を、ご子息ご令嬢の藤田道也氏、綏子氏、明雄氏から寄贈していただきました。セーレンプラネットの展示コーナーでは、研究で使われた資料だけでなく、日記や自作の紙芝居など、お人柄をうかがうことができる資料も展示しています。

（文・写真/学芸員 加藤英行）



# 多摩の自然と星空

藤田 道也 (文・写真)

父は1908年に福井の地で生を受け、東京の大学で天文学を学び、国内、国外の天文台や研究施設で学者としての経験を積み重ねました。60歳で永年勤めた大学の定年を迎え、便利な場所にあった都心の公務員住宅を出ざるを得ない状況になりました。

当時、親戚のひとりが東京郊外の多摩市（当時は南多摩郡多摩町）に土地を持っていたので、父はそれを購入しました。いよいよ自宅を建てることになり、建築の道に進んでいた私にこの家の設計が任せられることになったのです。

私は結婚して家を出ていたので、両親と妹、弟の4人の住まいとして建てられました。1970年になろうとする頃です。

当時、都心から30kmも離れたこのあたりはまだ周囲に農家が点在し、住宅地ではありませんでした。キジや野うさぎなどの小動物が生息するススキの原野の状態です。都心に行くにはバスや電車を乗り継がなければならず、バス停に行くのにも坂を上り下りする必要がありました。またこの土地が傾斜地のために住まいがバリアフリーとはならず、両親には少しばかり不便を強いたように思われます。

父はこの地に転居後も1994年（日本学士院長就任）頃までは岡山天体物理観測所やアメリカのハール天文台など内外の天文台や大学、研究所に赴き、観測・研究をもとに論文を執筆し続けていました。この地を住まいに選んだ理由は生前聞きそびれてしまいましたが、福井での幼少時代に晴れる日が少ない中、星空にあこがれてこの道に進んだという原体験があったからでしょう。

書斎からはるか南西方向の山並みの一角に富士山が眺められ、それが日ごと変化するのを毎日楽しんでいました。また冬の夜には東京にしてはきれいな星空を見上げて観察していました。



父と望遠鏡

今では多摩ニュータウンなどの都市化の波に押され、また付近も多数の住宅が隣接するようになり、夜間の星空もますます見えにくくなっています。それにもかかわらず富士山だけは昔のままで、父は亡くなる直前までその姿を楽しみながら日記に綴っていました。

現在、自然史博物館分館に展示してある天体望遠鏡は1985年頃庭に設置されたものです。現役を引退しても父は星空とは縁が切れませんでした。まだ視界が現在よりは良かったので、時には近所の子供たちを集めて観望会などを催していました。

父は日食観測を若いころから何度も体験しています。特に2009年7月22日の北硫黄島付近、船上での皆既日食を学術的な観測ではない視点で父と私、弟と孫である私の息子の4人で同時体験できたこと、また2002年1月にハワイ島にあるマウナケア山上のすばる望遠鏡にも同様に4人で行ったことを父は満足げに話しておりました。

亡くなる前の年、2012年の5月21日の金環日食を玄関先で弟の介添えで観測したのが天体現象にかかわった最後でした。

母が亡くなった20年後、父は104歳の天寿を全うし亡くなりましたが、その後も妹と弟が両親の愛した家に住み続けています。富士山と多摩の星空は今も変わらず、われわれ遺された者に

色々なことを思い出させてくれます。  
(藤田良雄博士のご長男)

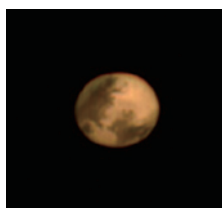


左：多摩の家（館長 吉澤康暢 撮影）  
右：多摩の家からの富士山

## 火星の接近

今年は火星が2年2か月ぶりに地球に接近する年です。5月31日の最接近のときには-2等より明るくなります。この好機にぜひ、火星をご覧ください。また、接近のときに望遠鏡を使って観望すれば、表面の模様や極冠と呼ばれる二酸化炭素でできた氷の様子などを楽しむことができます。

博物館では火星の接近にあわせて、6月19日(日)19時30分から21時30分天体観望会「接近中の火星を見よう」を予定しています。ご参加お待ちしております。※雨天・曇天の時は中止します。  
(文・写真/学芸員 加藤英行)



▲さそり座に位置する火星(2016年5月3日 福井市城戸ノ内町) 火星が土星とさそり座のアンタレスの近くで輝く様子を撮影しました。赤い火星は、周りの星との色の対比が鮮やかです。  
◀当館天文台で撮影した火星(2016年5月18日)

## 第46回 彗星会議 in ふくい



彗星写真提供: 小林 徹氏

すいせい  
彗星会議は、彗星に興味のある方なら誰でも参加できる会議です。例年、多くの彗星ファンがプロ・アマ問わず参加しています。専門的な研究から、観望に至るまで、彗星に関するいろいろな情報や話題についての交流の場となっています。

今年は、宇宙・天文の博物館セーレンプラネット(福井市自然史博物館分館)のオープンで、天文への関心が高まる福井で開催されます。この機会に参加してみませんか。

と き ● 2016年6月18日(土)、19日(日)  
会 場 ● ハピリンホール  
(福井市中央1丁目2-1 ハピリン3階)

プログラム ● 1日目 研究発表、分科会、懇親会  
2日目 招待講演、ポスターセッション、研究発表

申 込 ● 2016年6月3日(金)まで  
参 加 費 ● 一般4,000円、学生1,000円、中学生500円  
主 催 ● 第46回彗星会議実行委員会  
共 催 ● 福井市自然史博物館

※申込方法など詳細は第46回彗星会議のホームページをご覧ください。

(文/学芸員 加藤英行)

彗星会議 福井

検索

### 《あとがき》

最近、星空を見上げたでしょうか。今号で紹介した藤田良雄博士は、生涯をととして天文を楽しんでいたようです。藤田博士にとって、星空は身近な存在であったのだと想像しています。

身のまわりの自然をよく観察してみると、思わぬところで、新たな発見があるものです。当館では天体観望会をはじめ、自然観察会などの行事を催しています。身近な自然を楽しみに、博物館の行事にぜひご参加ください。みなさまとお会いできることを、楽しみにしています。

(加藤)

### 《交通案内》

#### 【電車】

●福井鉄道福武線 足羽山公園口駅・商工会議所前駅 各徒歩20分

#### 【バス】

●京福バス: 清水グリーンライン(74系統) 足羽山公園下バス停(あじさいの道登り)、不動山口バス停(藤島神社登り) 各徒歩10分  
●コミュニティバスすまいる: 西ルート(足羽・照手方面) 愛宕坂バス停 徒歩10分

【徒歩】JR 福井駅から徒歩30分

### 《ご利用案内》

開館時間 ● 午前9時～午後5時15分(入館は午後4時45分まで)  
休 館 日 ● 月曜日(祝日は開館)、祝日の翌日、年末年始

入 館 料 ● 高校生以上100円(20名以上の団体は半額)  
中学生以下、70歳以上、障害者および付添の方は無料

